

# ロボット相撲 判定問題集 I

2008.06.20

全日本ロボット相撲大会事務局

審判部長 北野 聡

下記の文章は「まさる山(赤)」と「たけし龍(青)」の試合風景を描写したものである。このような場合、一体どのような判定を下せばよいか、下記より記号を選び記入しなさい。

(同じ記号を何度でも使用できるものとする)

- (1) 両者が同時に土俵余地に接した。
- (2) 取り直しの際、青ロボットの選手がロボットのプログラムを変更した。
- (3) 試合開始と同時に赤ロボットがフラッシュをたいて青ロボットを脅かした。
- (4) 両者が組み合った状態で同一軌道上を走行している。
- (5) 自立型において、赤ロボットが「ハッケヨイ・ノコッタ」の合図から4.9秒で動作した。
- (6) 両者が接触しない状態で停止して動かない。
- (7) 赤ロボットが停止して動かず、青ロボットはゆっくりであるが動いている。
- (8) 試合中、赤ロボットの車輪が外れて土俵場外へと転がった。
- (9) 取り直しの際、赤ロボットの選手がロボットのバッテリーを交換した。
- (10) 試合開始後、両者とも土俵上で接触しないまま、しばらく走行していた。
- (11) 試合中、青ロボットのブレードが外れ、ロボット本体から落ちてしまった。
- (12) 自立型において、赤ロボットが有効1本を先取し、2本目も赤ロボットが青ロボットを押し出し、主審が有効1本を宣言したが、赤ロボットが遠隔装置で止まらなかった。
- (13) 試合中に両者が組み合ったまま停止して動けなくなった。
- (14) 試合中に青ロボットから煙が出てしまった。
- (15) 試合中、赤ロボットの車輪が青ロボットに押され、土俵から脱輪し、戻れなくなってしまった。
- (16) 青ロボットの動きが相手ロボットを感知し自らも向きをかえているか疑わしいので、試合を中断し、青ロボットのプログラムを変更せずに単独で動作確認を行ったところ、相手ロボットを感知し、向きを変える動きをしなかった。
- (17) 試合の再開時、青がプロボ操作でロボットを仕切り位置まで移動した。
- (18) 試合中に激しく接触し、両者のブレードが飛散した。
- (19) 試合中に赤ロボットのブレードの先端が「飛散」ではなく、つぶれた。
- (20) 赤ロボットが相手方ロボットと関係なく自走中に土俵に傷をつけた。
- (21) 試合前にいくら呼び出しをしても青が現れなかった。
- (22) 青ロボットのブレードが変形し、このまま試合を行うと土俵に傷をつけるため、審判の指示に従い、修理した。

選択肢

A. 赤に警告を与えた	G. 青に警告を与えた	M. 両者に警告を与えた
B. 赤を優勢とした	H. 青を優勢とした	N. 両者に反則を与えた
C. 赤を死に体とした	I. 青を死に体とした	O. 両者とも反則負けとした
D. 赤に反則を与えた	J. 青に反則を与えた	P. 両者とも失格とした
E. 赤を反則負けとした	K. 青を反則負けとした	Q. 取り直しとなった
F. 赤を失格とした	L. 青を失格とした	R. 規則には反していないので続行

解答欄

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
(16)	(17)	(18)	(19)	(20)
(21)	(22)			